



## 事務職

【採用】

令和3年度 経験者1級職(事務)

【所属】

荒川区健康部保健予防課

【前職】

民間企業(サービス系) 7年勤務

### Q1. 民間企業から公務員に転職しようと思った理由やきっかけについて教えてください。

子どもが生まれたので公私をしっかりと分けて家族との時間を充実させたいという思いが強くなったこと、両親が公務員経験者ということもあり仕事のイメージがしやすかったことです。

### Q2. 特別区(荒川区)を志望した理由を教えてください。

グローバル化の風潮が加速する中、これからの世代である若年層に対して国際的経験の機会を多く提供したいという思いがありました。

私自身が下町で生まれ育ったこともあり、下町風情溢れる地域性に安心感があるのに加えて、区内総人口に対する外国人比率が特別区の中でも比較的高い区だったので、希望が実現できるのではと考えました。

### Q3. 前職はどのような仕事をしていましたか。

また、前職との違いはありますか。

旅行業界の法人部門でインバウンド事業に携わっており、国際スポーツイベントの準備・運営や海外諸国に対して日本のPRに繋げる受託事業を担当していました。

前職は法人担当が仕事相手でありましたが、現職ではサービスの最終的な享受者である区民の皆様と直接対面して仕事をする環境が大きな違いです。

### Q4. 今の仕事内容を教えてください。

また、今の仕事のやりがいや魅力を教えてください。

医療機関から感染症の患者発生連絡を受けた後、法律等に基づく入院又は治療が適切かどうかを判断し、治療に要する医療費の公費認定等の審査をしています。

治療を終えた患者様からお礼のお手紙やお言葉をいただくこともあり、区民の皆様の健康のため、安心して暮らせるためにお役に立てたかなと実感できます。

### Q5. 入区後に前職の経験や知識が生きた場面があれば教えてください。

周りの職員との関係性作りです。前職では営業職として働いており、私一人だけでは仕事を進められる環境ではなかったことから、チームのメンバーとの関係性を大切にしていました。

この点については、仕事を円滑に行うために今も大事にしていることであり、公務員と民間で仕事そのものの性質が大きく異なった環境下でも変わることはなかったと思います。

### Q6. 職場はどのような雰囲気ですか。

とてもコミュニケーションがとりやすい課だと思います。入区する前は公務員は縦の関係性がしっかりしていて民間に比べたら堅苦しいイメージを抱いていました。入区してからは、新型コロナウイルス感染症患者の対応をする部署だったこともあり、大変だった時期はもちろんありましたが、皆で協力しながら区民の皆様の健康のために頑張っていこうという気概を感じることができました。

### Q7. 荒川区に入ってよかったことを教えてください。

良い意味で区の面積が小さいことです。入区前は、特別区の中でも台東区に次いで小さいという地理的感覚でしかなかったのですが、何かあればすぐに現場に駆けつけることができるし、区民の皆様も区役所はじめ地域の区民事務所に足を運びやすいので、行政運営を行うにあたっては双方にとってとてもメリットが大きいと感じています。

### Q8. 休日や退庁後の過ごし方について教えてください。

(前職と違い社用携帯を貸与されていないから)仕事から離れている時間は完全にOFFモードとなり、気兼ねなく家族との時間を過ごすことができています。休日は朝から子供と公園で遊んだり好きな場所に連れて行ったり、平日でも保育園の送り迎えをし、お風呂に一緒に入り、寝かしつけをするというごく一般的なライフスタイルを送ることができているので、個人的にもとても嬉しいです。

### Q9. 経験者採用での就職を考えている方にメッセージをお願いします。

私もでしたが、未知の領域に足を踏み入れるので不安も多いかと思いますが、仕事をしているイメージが掴みにくいと思います。しかし、これは転職の際には必ず抱く不安でもあると思いますので、自分が転職後にどうしたいかという軸をしっかりと構えた上で、面接でも自身の職務経験を踏まえた上でアピール出来るようにすれば、少しでも不安を打ち消すことに繋がるとと思います。メリハリをつけながら適度に息抜きをしつつ、気負うことなく頑張ってください。一緒に働けることを楽しみにしています。